

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	体育施設管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	スポーツ活動の基盤づくりの事務管理	意図	体育施設を円滑に運営し、利用者に安全で快適に利用してもらう。
事業内容	体育施設管理を行うための事務管理・スポーツ活動の基盤づくり推進のための事業事務。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年4月から指定管理者制度を導入し、体育施設の管理運営を行っている。スポーツフィールドについては、無料の体育施設のため市が管理している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	スポーツフィールド利用者数	220,628	264,847	377,385	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 屋外体育施設は老朽化しており、突発的なものも含めて修繕費用は増加している。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,299,812	17,198,964	35,318,956				
事業費(b)(円)		12,926,812	15,856,564	34,000,556				
うち一般財源		12,926,812	15,856,564	34,000,556				
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400	1,318,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	施設の点検を行い計画的に修繕に努めていく。	③取組における課題(Check)	各スポーツ施設において、安全で快適なスポーツ環境を提供する。
②H30に実施した取組(Do)	予算の適正な執行に努めた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	流山スポーツフィールドC面の整地を行い、安全で快適なスポーツ環境を利用者に提供する。